

井上明夫新聞 ～日田市議会だより～

ようやく過ごしやすい季節になりましたが、3月11日に東北・関東地方を襲った巨大地震により数万人が犠牲になり、被災地では今なお多くの皆さんが、不自由な生活を強いられています。

犠牲者の皆様のご冥福を心からお祈りするとともに、被災地が1日も早く復興へ向けて動き出すよう願います。

今後、災害に遭わなかった地域が、支援活動や通常の経済活動を活発化して、被災地を支えていかなければなりません。



3月議会・井上明夫の一般質問

市の観光施設を管理する第3セクターのあり方を問う！！

(質問) 第3セクターが指定管理者となって管理運営している、市の所有する観光施設に対して合併後に市がどれくらい設備投資しているか？

(部長) 夢工房が運営する「ひびきの郷」や地球財団が運営する「鯛生金山」やかみつえグリーン商事が運営する「フィッシングパーク」などに対し、合併後に2億4000万円の設備投資をしている。

(質問) さらに23年度予算案で設備投資が計上されている。市が設備投資をして、指定管理者は特定の第3セクターに限られているが、今後指定管理者の公募は行うのか？

(部長) 過去の経緯があるのでこれまでどおりで行きたい。

(質問) 夢工房は21年度の役員報酬が1069万円(純利益139万円)だが、地球財団の109万円(純利益589万円)、かみつえグリーン商事の122万円(純利益395万円)に対して非常に多い。

日田市が出資する法人の役員一人ひとりの報酬の情報開示はしないのか？

(部長) 役員一人ひとりの報酬を開示するところまでは考えていない。

(質問) 夢工房の21年度決算では短期借入金が前年度ゼロから2520万円に増加し、現金預金は6900万円から5914万円に減っている。経営は大丈夫か？

(部長) しっかり経営するよう厳しく指導している。

(質問) 市が設備投資を延々と続けるのは財政にとって負担になるし、実質的な赤字補填ではないか。第3セクターの株を売却したり、施設ごと民間に売却する考えはないか？

(市長) 地域の雇用確保という当初からの目的を果たすと言う意味で、これまでどおりで行きたいが、経営内容には目を光らせない。

*このような施設の存在意義はそれなりにあったのですが、今後も公金で設備投資を行ない、指定管理者の公募も行わず、高い役員報酬を払いながら経営内容がよくないケースが出てくれば市民は納得しません。

施設の老朽化や経営環境の変化に応じて、市の財政を圧迫しない形で今後のあり方を検討するよう要望します。

完全地デジ化を前に「地デジ難民」対策を急げ！！

(質問) 地上デジタル放送への完全移行がなされる今年7月24日に、日田市として「地デジ難民」が生まれえないような対応を行っているか？

(部長) 市の光ネットワークではデジタル信号をアナログに変換する装置を今年度導入し、27年3月までアナログテレビを使用できるようにする(KCVもそうなります)。また、70歳以上の高齢者世帯などには通常の周知と別に文書と電話で周知している。

(質問) 生活保護世帯や市町村民税非課税世帯に対する「簡易チューナーの無償配布」の事業があるが、この制度の利用の申請をしていなくて、地デジ対応をしていない世帯数を把握しているか？

(部長) それは把握していないが市内26600世帯中、ケーブルテレビや共聴施設を利用していない6600世帯のうち約8%の528世帯を地デジ未対応と想定している。

*「簡易チューナーの無償配布」の事業を利用するには申請が必要で、対象となっている高齢者や障害者の方に「申請しろ」というのは酷な面もあります。

弱い立場の方が「地デジ難民」となることのないようにするために、行政は最大限の努力をすることが必要です。

この他、大明地区の公共交通実証実験のデマンドタクシーの運行方法や地域住民が学校教育をボランティアで支える学校支援事業について質問しました。

☆☆

★私のホームページやブログはネットで「井上明夫」で検索できます。携帯からは→

[連絡先] 井上明夫 TEL. 0973-28-2750 / 携帯 090-87666807

